

平成26年度埼玉県・オハイオ州機械工学系奨学生レポート 2月

「ミュージアムとモーターショー」

冬の厳しさも峠を超え、日に日に春が近づいてきているのを感じています。今年の冬は大学が休校になり、吹雪で街全体がホワイトアウトになるなどとても厳しいものでした。日本では到底経験し得ない貴重な経験でした。

The National Underground Railroad Freedom Center

先月、大学の教授や日本人の学生数名とともに、The National Underground Railroad Freedom Center に行ってきました。このミュージアムはアメリカの奴隷制度に関するミュージアムで、奴隷だった人々や、彼らを開放しようと尽力された方々についてのミュージアムです。館内では社会科見学の小学生や高校生などが多く見られ、子供向けに噛み砕いた解説やビデオも多く、奴隷制度のことをしっかりと教育していこうというアメリカの姿勢が見てうかがえました。特に映像資料の質がとても高く、一人の奴隷の逃走から成功までを描いた30分ほどのドラマでは、当時の制度や、文化背景などの詳しい説明があり、とても興味深いものでした。

なぜオハイオにこのようなミュージアムがあるかという、オハイオの南はオハイオ川でケンタッキー州と分断されており、ケンタッキー州では奴隷制度が合法であったため、奴隷だった人たちがオハイオ川を渡り逃げてきたことに由来します。そのためミュージアムは川沿いに面しており、川沿いのテラスには鎮魂の火が灯してありました。



ミュージアム外観

デトロイトモーターショー

1月の終わり頃、デトロイトで開催された North American International Auto Show 2015 に行ってきました。このモーターショーは北米最大級のモーターショーで、一般車のみならず軍事車両なども多く展示されており、デトロイト最大のホールを貸し切って行われていました。当日は渋滞がひどく、ハイウェイの出入口付近には長い列ができており、また会場内でも多くの人で賑わっていました。特に混雑が激しかったのがフォードのブースで、身動きが取れないほど、人でごった返していました。しかし、大混雑にも関わらず皆熱心に車を見ており、昨今の業績悪化にもかかわらずフォードが未だにアメリカ国民から多くの支持を受けているのを実感しました。また軍事車両のブースも人が多く、こちらも同様に関心が高いことがうかがえました。

このモーターショーでは HONDA が新型車の発表を行っており、そこもまた多くの人で賑わっており、アメリカでの HONDA の人気ぶりもまたうかがうことが出来ました。



HONDA の新型車



アメリカ軍のハンビー